

完成した砂絵でできたビオトープの看板=いずれも豊田市の挙母小で



全国最優秀 ビオトープ

挙母小(豊田)の「看板」でできた



岡崎城西高美術部員の手ほどきで
ビオトープの生き物を描く児童ら

豊田市の挙母小学校の児童たちが、校内のビオトープの看板を砂絵で作った。身近な生き物を広く知ってもらおうと、鳥や魚、植物などを表現。岡崎市の岡崎城西高校の美術部が協力し、両市を流れる矢作川の砂も使った。

(古根村進然)

挙母小のビオトープ「ネイチャーワールド・みんなのころも川」は昨年、日本ビオトープ協会(東京)の第四回顕彰で最優秀賞を受

岡崎城西高生と砂絵で製作

賞。担当の田口賢一教諭が「看板に工夫がで
論が「看板に工夫がで
ボなどの下絵を描いて
きないか」と親交のあ
切り取り、接着剤を混
る岡崎城西高の福岡正
ぜた色とりどりの砂を
臣美術教諭に相談し
載せ、背景に貼り付け
る方法で完成させた。

矢作川の水を引いた
学校周辺で見るとい
全長九十餘の小川がビ
うカワセミを描いた四
オトープに流れている
年の原奏太君は「砂を
ことに目を付け、砂や
載せるのが難しいけ
小石を使うことにし
ど、楽しかった」と笑
た。美術部の生徒が拾
顔。六年の浦野瑞雪さ
い集めて色を付け、縦
んは「看板を見て、い
一・一層、横二・三層
ろいろな生き物がある
の板に滝や池、草木な
ことを知ってもらいた
どビオトープの景色を
い」と目を輝かせた。
描いた。

美術部長の伊沢晃輝
これ为背景にして、
君(二年)は「小学生
児童が市販の砂絵の材
がこんなに器用だとは
料でビオトープの生き
思わなかった。時間を
物を中心に描いた。作
かけてこれだけの作品
業は十二日にあり、一
ができ、やりがいを感
年生から六年生まで二
じる」と喜んだ。
十六人が岡崎城西高の
看板は二〇二二年度
美術部員の手ほどきを
内にビオトープそばに
受けて実施。十五、四
設置する予定。